

第3回定例理事会

9月12日
軽井沢プリンスホテルウエスト
出席理事・監事・特別参与27人

当面「消費税」対応に重点「庄司会長 危機管理徹底を」

冒頭、庄司孝輝会長は、「東京オリンピックが決まり、7年後」が目標の形で出てきた。当然その

期間中にカジノ問題が出て、あわただしい動きになるのではないかと危惧している。ホール関係5団

体の代表者たちと話していてもそうした危機意識の高まりを感じる。各団体で危機管理チームを置き、事務局ベースで危機感を共有し、平時の間にリスクマネジメントを話し合っていくと提案していきたい」と述べた。

また、警察庁が解釈運用基準の改正を説明したことに関連し、「消費税については、遊技球等にもお客様に提供する景品にも税金を含むという形が出たが、ほかに貯玉な

ど関連する諸問題を各団体が共有する形で議論していくことになっている」と述べた。

ホール関係5団体で構成する消費税対応ワーキング(W)、風営法検討ワーキンググループ(WG)の2つの会議の今後の予定については報告があった。風営法については論議が一回りしたが各団体の意向がかなり割れていること、2つの会議のメンバーが重複していて、並行して開くと負担が重いことなどから、風営法WGを暫時休み、喫緊の課題である消費税への対応を5団体で集約していく。当面、10月15日に消費税対応Wの会合を開く。

申請を出して以来、初めてのヒアリングとなる。内閣府委員会からは「経過は概ね順調」との説明を受けた。さらに同委員会から、健全化推進機構、貯玉補償基金、遊技取扱主任者講習・試験など、日遊協が関係する団体や活動についての説明メモを作成するよう要請された。順調にいけば、一般社団法人としての発足は来年4月が予定されている。

流通勉強会に衣替え

専門委員会の景品関連促進プロジェクトチーム(PT)が終了し、流通勉強会と形を変えて再出発することが報告された。景品関連促進PTは12年5月に設置され、コンビニ商品の導入試験、ファミリーマートとの折衝、流通業とのビジネス提携の模索、景品持ち帰り促進の環境整備などを審議したが、終了にあたってこれまでの検討経過を報告書にまとめる。

新しく生まれ変わる流通勉強会には景品卸等を主体として、9月11日に初会合があった。今後の景品問題解決の芯になることが期待されている。会議内容は原則として非公開となる。

法人化は「概ね順調」

一般社団法人への移行作業で、9月10日に行なわれた内閣府認定委員会とのヒアリング内容が報告された。7月に一般社団法人への



庄司孝輝会長

改称「遊技産業 新経営者会議」

8月27日にグラランドアーク半蔵門で開かれた第1回次世代経営者会議の結果が報告された。各支部から推薦された30代、40代の会員を中心に45人が参集した。早稲田大学ビジネススクール永井猛教授、深谷友尋日遊協相談役(前会長)の講演を聞いた後、懇親会での交流で広範な人脈づくりが行なわれた。参加した顔ぶれを見ると、若手とはいえ既に第一線で活躍中の経営トップも多く、「もはや次世代とはいえない」との意見が出されて、「遊技産業新経営者会議」と改称することが発表された。会議は今後、3か月に1度程度開き、業界の未来について話し合うことになっている。

主要イベント日程を確認

合同就職説明会(12月7日・東京ビッグサイト)、エッセー・絵手紙コンクール(11月1日募集開始)、ファンアンケート調査(10~11月調査実施)、チャリティゴルフコンペ(10月25日・阿見ゴルフクラブ)、アナハイム・ラスベガス研修(11月

5~10日)等となっている。

新規に正会員2社の入会が承認された。いずれも景品卸となっている。これで9月12日現在、正会

「リスク恐れず抜本改革」

秋季セミナー 神田克美氏が講演

9月12日、軽井沢プリンスホテルウエストで定例理事会に引き続き、青松英和全日遊連理事長ら業界団体からの来賓を招いて、秋季セミナーと懇親会が催された。

秋季セミナーでは、東京海上日動火災保険(株)の元副社長、神田克美氏が、「企業体質の変革」仕事のやり方・抜本改革」と題して講演した。神田氏は、周囲は常に進歩・進化を続けており、最先端のシステムであっても常に次の改革を意識していかなければならないとして、太平洋戦争マリアナ沖海戦での日本海軍の敗北などを例に挙げて、リスクを恐れない抜本改革の必要性を強調した。(18~23ページに神田氏の講演要旨)

深谷夫人も招き懇親会

セミナーの後の懇親会には来賓

員340社(ホール109、機械69、販売114、景品11、その他37)、賛助会員70社、計410社と団体会員1(同友会)となった。(15ページに新規入会会員)

を含めて53人が出席した。12年間日遊協会長を務めて6月に退任した深谷友尋相談役が、一緒に招かれていた美恵子夫人と登壇し、お礼のあいさつを述べるなど、会はなごやかに進められた。

セミナー、懇親会での、その他の来賓は次の通り。

(順不同、敬称略)

橘高照忠(日電協常務理事)、松田高志(同友会代表理事)、古屋孝章(同事務局長)、千原行喜(余暇進副会長)、大原

榮奉(同常務理事)、恵良道信(PSA専務理事)、日高八千男(同事務局長)

東京都・関東支部役員会

トラブル対応を含め セキュリティ対策部会設立

東京都・関東支部役員会が9月2日、日遊協本部会議室で開かれ、庄司孝輝会長、西村拓郎支部長以下15人が出席した。来年度の支部総会については、来年6月5日(木)の日遊協第25回通常総会に合わせて、同じ場所で開催前に開催することを確認した。

支部のセキュリティ対策部会設立の進捗状況が報告された。ゴトだけでなくクレーマーなどトラブル対応を含めた勉強会を目指している。10月25日に予定されている親睦チャリティゴルフコンペ(茨城県・阿見ゴルフクラブ)の実施要領が説明された。

その他のおもな出席者は次の通り。(順不同、敬称略)

日野文平、知念安光、白石良二、後藤正人、尼子勝紀、岸野誠人(以上支部長)、茂木欣人、山内伸(以上委員長)、篠原弘志(専務理事)、伊東慎吾(常務理事)、山本健二(事務局長)、江口憲治(総務課長)、松尾利光(事務所長)



懇親会で夫人のスピーチにテレル深谷相談役